

第41回

いだか樹魂まつり



第41回ひだか樹魂まつりが、7月21日と22日の2日間に渡り、日高山岳ピラパークで開催されました。当日はとても暖かく、晴天に恵まれ、お祭り日和となりました。恒例の「観光踊りパレード」が市街地で行われ祭りがスタートしました。



前夜祭では、日高町木遣り保存会による「木遣り」と日高山岳太鼓保存会による「山岳太鼓」が共演。壮大な太鼓の響きと「木遣り歌」に乗せて、巨大な丸太を操る職人たちに多くの観客が見入り、大きな拍手を贈っていました。





日高町出身者による和太鼓と歌、さらに三味線によるステージが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

日高山脈に棲むという 伝説の竜を守護神に 樹々に感謝を捧げる。

22日は、門別沙乱舞連、平取義経なるこ会、ひだか樹魂舞による、よさこい競演で開け、丸太をのこぎりで切り落とすタイムを競う「木こりさん競走」や、1チーム5人で重量約300kgの丸太を運ぶ早さを競う「流送レース」、北海道大学の留学生による各国の文化の紹介や、陸上自衛隊第7音楽隊演奏会があり、大勢の観客を楽しませました。まつりの最後は「もちまき」が行われ、最後まで笑顔が溢れました。



今回予告しておりましたプログラムにつきましては、すべてご紹介・実施することができましたが、前夜祭における花火大会の不発玉が観客側の手前落下し、数名の怪我が生じました。皆様にはご心配をお詫び申し上げます。被災されました皆様の一日も早いご回復をお祈りします。

